

4/13日-5/27日 会期中無休

### ダヤン、再び新見へ! 猫のダヤン35周年 -ダヤンと不思議な劇場- 池田あきこ原画展

大きくミステリアスな目が印象的な猫のダヤンは、不思議の国「わちふいーど」に住む猫。いつも事の中にはダヤンがいて、不思議な出来事を引き寄せます。主人公ダヤンを中心に個性豊かなキャラクターたちが織りなす物語は、小説や絵本、アニメーション、グッズなどさまざまな形で展開され、2018年に誕生35年を迎えました。

西日本初開催となる本展では、新作原画30点やスケッチをはじめ、初期の絵本作品や歴代BABYダヤンなど140点余りを展示。ダンボールによる巨大なアート作品「タシルのお祭り広場」、革を使ったジオラマやギニョール劇場、ダヤンがとびまわるプロジェクションマッピングなど楽しさ満載で、ダヤンの不思議な世界を体感できます。

4月13日[土]、14日[日]、5月25日[土]、26日[日]には池田あきこトーク&サイン会を開催します。



《劇場の構想》2018年

一般 800(700)円 大学生 500(400)円 中学生 300(250)円 小学生 200(150)円  
※( )内は15名以上の団体料金 ※新見市内の小中学生は「こころふれあいパスポート」提示で観覧無料  
※「高梁川流域」バスポート提示の小中学生は土・日・祝休日に限り観覧無料

6/1日-7/21日 【休館日】月曜(但し、7/15[月・祝]は開館)

### 生誕100年 堀文子 追悼展 ~旅人の記憶~

自然への畏敬や生命の不思議に対する感動を持ち続け、独自の感性と表現によって多彩な作品を生み出した堀文子。

本展では、2019年2月5日に100歳で亡くなった孤高の女性画家・堀文子の80年に及び画業を振り返り、その遠大で魅力に満ちた絵画世界を紹介します。「群れない」「慣れない」「頼らない」を信条とする画家のとどまることなき創作の軌跡を、初期から最後の作品となった《紅梅》まで100余点を辿り、多くの人を魅了し続けた人間像にも迫ります。

6月1日[土] 11:00~  
檀ふみ氏 (女優) スペシャルミニトーク 開催



《妖怪(クリオネ)と遊ぶ》2003年  
株式会社 米ハグループ

一般 800(700)円 大学生 500(400)円 中学生 300(250)円 小学生 200(150)円  
※( )内は15名以上の団体料金  
※新見市内の小中学生は「こころふれあいパスポート」提示で観覧無料  
※「高梁川流域」バスポート提示の小中学生は土・日・祝休日に限り観覧無料

7/26日-9/16日 月祝 【休館日】9/2[月]・9[月]

### イラストレーター マツオヒロミ展

松江市出身のマツオヒロミは、現在岡山を拠点に活躍するイラストレーターです。大正ロマン、昭和モダンに影響を受けたレトロモダンな世界観は同人誌などを中心に多くの支持を集めました。2016年1月に刊行された自身初となる単行本「百貨店ワルツ」は大ヒットを記録。日本で注目を集める作家のひとりとなっています。

岡山初開催となる本展覧会では、引き込まれるような眼差し、繊細な筆致で丁寧に描きこまれた着物や洋服のディテール、感情の揺らぎまでも表現する巧みな人物描写を通して、魅力あふれるイラストレーター・マツオヒロミの世界を紹介します。



《2019年カレンダー表紙原画》2018年

一般 700(600)円 大学生 500(400)円 中学生 300(250)円 小学生 200(150)円  
※( )内は15名以上の団体料金 ※新見市内の小中学生は「こころふれあいパスポート」提示で観覧無料  
※「高梁川流域」バスポート提示の小中学生は土・日・祝休日に限り観覧無料

9/21日-11/17日 【休館日】月曜(但し、9/23[月・祝]・10/14[月・祝] 11/4[月・祝]は開館)

### 松園、清方、深水、小坡、紫明...そして夢二 培広庵コレクション 華麗なる美人画

美人画は、明治以降、美術という分野が生まれてから人物表現の代表的なテーマとされ、日本独自のジャンルとして成立。東京、京都、大阪の三都を中心に、時代ごとに影響を受けながら多様な展開をみせ、ときには清楚に、あるいは妖艶に、またあるときは可憐に、そして知的に表現されてきました。

本展では、日本有数の美人画コレクターとして知られる培広庵コレクションから、美人画の巨匠と謳われた上村松園、鍋木清方、伊東深水をはじめ、伊藤小坡、寺島紫明、北野恒富、島成園、紺谷光俊など美人画の黄金期を築き上げた東西の画家たちが追求し続けた女性美を紹介し、今もなお多くの人々を魅了し続ける華麗なる世界を紹介します。



板倉星光《鏡獅子》1930年頃

一般 800(700)円 大学生 500(400)円 中学生 300(250)円 小学生 200(150)円  
※( )内は15名以上の団体料金 ※新見市内の小中学生は「こころふれあいパスポート」提示で観覧無料  
※「高梁川流域」バスポート提示の小中学生は土・日・祝休日に限り観覧無料

11/23日-2020 1/26日 【休館日】月曜(但し、1/13[月・祝]は開館し、翌日休館)、12/27[金]-1/4[土]

### 浪崎文彰 ライムアートの世界

新見市の主要産業は石灰工業で、石灰を英語で「ライム」と呼びます。その石灰を使ったアート作品を「ライムアート」と名付け、芸術にまで昇華させた創作活動を行っているのが浪崎文彰です。

浪崎は、型押しによる石灰の凹みに染色した石灰を伏せ込み磨きだすといった、独自の技法を用い、空気中の二酸化炭素を吸収しながら硬化していく石灰の特性によって、表面にカルサイトという硬質なガラス質の結晶が形成されることで、壁画や大理石を思わせる独特なマティエールを持つ作品を創作しています。

本展覧会では、新時代誕生にふさわしい新ジャンルの美術、「ライムアート」の世界を紹介します。



《ライムアート MEZAME》  
2012年  
新美展 文部科学大臣賞

一般 700(600)円 大学生 500(400)円 中学生 250(200)円 小学生 150(100)円  
※( )内は15名以上の団体料金 ※新見市内の小中学生は「こころふれあいパスポート」提示で観覧無料  
※「高梁川流域」バスポート提示の小中学生は土・日・祝休日に限り観覧無料

2/1日-4/5日 【休館日】月曜(但し、2/24[月・祝]は開館し、翌日休館) ※会期中、一部展示替を行います。

### 開館30周年特別企画 すべてみせます 鉄斎コレクション大公開!

2020年11月、新見美術館は開館30年を迎えます。そのコレクションの中心となっているのが富岡鉄斎作品で、関連作品を含め現在約70点を所蔵しています。

鉄斎は、幕末・明治・大正の三代に生きたわが国最後の文人画家で、近代日本美術史上傑出した存在です。日本や中国の古典故事や文学・儒学・仏教・哲学・煎茶・神仙思想などを吸収し、それらの教養に裏付けられた作品には天真爛漫で、豊かな知性と感性を見ることができます。鉄斎芸術が多くのの人々に共感を与える最大の魅力は、その自由奔放さにあり、後世の画家たちにも大きな影響を与えました。

本展覧会では、開館30周年を記念して、当館所蔵の鉄斎作品及び関連作品のすべてを紹介します。

一般 500(400)円 大学生 400(350)円 中学生 250(200)円 小学生 150(100)円  
※( )内は15名以上の団体料金 ※新見市内の小中学生は「こころふれあいパスポート」提示で観覧無料  
※「高梁川流域」バスポート提示の小中学生は土・日・祝休日に限り観覧無料



《富嶽図》1899年

2020年春季 開館30周年記念特別展I

### 假屋崎省吾の世界(仮称)

## 展覧会のご案内 2019.04-2020.04 NIIMI MUSEUM OF ART Exhibition Schedule

